

平成23年度 春の叙勲

瑞宝双光章（ずいほうそうこうしよう）

〜危険業務従事者叙勲〜

山本雅博氏

早来栄町在住の山本氏は陸上自衛隊第1高射特科群などに所属し危険性の高い業務に長年にわたり従事し、平成15年10月に1等陸尉として退官するまでの35年間、公共的な業務の遂行と他の模範となる成績を挙げた者として評価されました。

尚、伝達式は8月3日東千歳の陸上自衛隊駐屯地内で行なわれ受章の報告を町長にいただきました。



瑞宝双光章（ずいほうそうこうしよう）

〜教育従事者叙勲〜

小山田一利氏

小山田一利氏（現在伊達市在住）は、昭和56年4月から3年間の追分小学校校長在任中、アスレチック施設「ターザンの森」をPTAとの協働作業で造成。また、翌年には学校敷地内へプールを建設するなど、特に学校環境整備を精力的に推進し、児童の健康増進に貢献した功績が高く評価されました。

「30年たった今でも、追分の自然と狭気ある人情は変わらないのを沁み沁みと感じることができます。素晴らしく有難いです。ただただ感謝あるのみです。」と当時の思い出をお話しいただきました。



故山本隆司氏

正五位〜叙位〜

瑞宝双光章（ずいほうそうこうしよう）〜死亡叙勲〜

長年東京航空局航空管制官として、空港で公共的な業務に従事活躍された山本氏（早来栄町）に6月16日の死去に伴い、正五位の叙位と瑞宝双光章の叙勲が贈られました。

平成23年度道路功労者表彰を受賞（団体表彰）

ビューティーサポートR234は、平成18年国道234号新道の開通を期に結成され、早来駅前道路わきに花壇を整備。花植栽や雑草除去活動を継続的に行ない、道路の美化環境整備に務めています。北海道開発局は、同団体の活動を評価し、道路功労者として表彰、8月26日伝達式が行なわれました。



8月のびびり

熱気あふれる大会

7月31日追分公民館を会場に第41回胆振管内身体障害者スポーツ大会が開催されました。

管内7町から225名の選手・応援団が集い、スポーツやレクリエーションを通じて交流を図りました。

胆振身体障害者福祉協会安平支部の門田氏の選手宣誓で競技が始まり「みそまんぱっくん」などの競技を団体戦として競った今年の大会は白老町の優勝で幕を閉じました。



水の上は涼しくて快適

8月2日から5日にかけて、町内の小学生19名が参加し瑞穂ダムで行なわれた少年少女探検隊キャンプ活動。まきを使った火おこしやかまど作り、よもぎや火山灰を使った浄化槽作りを体験しました。

メインのカヌー体験は、5人で一つのカヌーに乗り込み事前学習を思い出しながら前進や方向転換に悪戦苦闘。前日までの野外生活と暑さから疲れも見えましたが、水の上から見える大自然に笑顔があふれていました。

